

別添

国自環第181号

平成18年12月22日

自動車検査独立行政法人理事長 殿

軽自動車検査協会理事長 殿

国土交通省自動車交通局

技術安全部長

「10・15モード排出ガス規制対象自動車の改造に係る新規検査の際に提出する書面について」の一部改正について

道路運送車両の保安基準の細目を定める告示の一部を改正する告示（平成18年国土交通省告示第1268号）等の制定に伴い、普通自動車及び小型自動車（二輪自動車（側車付二輪自動車を含む。）を除く。）であって、車両総重量 3.5 t 以下のもの又は専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下のもの並びに軽自動車の改造に係る新規検査の際に提出する自動車排出ガス試験結果成績表の様式等について、別添新旧対照表のとおり改正したので、通知します。

「10・15モード排出ガス規制対象自動車の改造に係る新規検査の際に提出する書面について」の一部改正について 新旧対照表

○10・15モード排出ガス規制対象自動車の改造に係る新規検査の際に提出する書面について（昭和50年11月12日自車第708号自公第163号）

（傍線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>軽・中量車</u>の改造に係る新規検査の際に提出する書面について</p> <p>道路運送車両法施行規則第36条第6項に係る提出書面については、「道路運送車両法施行規則第36条第5項、第6項及び第7項の書面について（依命通達）」（平成3年6月28日付け地技第156号）により通達されたところであるが、今後、<u>軽・中量車（普通自動車及び小型自動車（二輪自動車（側車付二輪自動車を含む。）を除く。）</u>であって、<u>車両総重量が3.5t以下のもの又は専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下のもの並びに軽自動車をいう。）</u>については、同通達によるほか、下記によることとされたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 「原動機、動力伝達装置、燃料装置又は一酸化炭素等発散防止装置の改造を行う場合であって、排出ガス値に影響する改造を行う場合」</p> <p>(1) 型式指定自動車の改造</p> <p>(2) <u>一酸化炭素等発散防止装置指定自動車（以下「装置指定自動車」という。）及び一酸化炭素等発散防止装置認定自動車（以下「型式認定自動車」という。）の改造</u></p> <p>(3) (1)及び(2)以外の自動車の改造</p> <p>2. 等価慣性重量のランク変更（重いランクに変更する場合に限る。）を伴う改造を行う場合</p> <p>なお、(1)及び(2)の規定により自動車排出ガス試験結果成績表を提出する場合であって、等価慣性重量ランクが複数ある場合には、最も重いランクの自動車排出ガス試験結果成績表の写しでも差し支えない。</p> <p>(1)型式指定自動車の改造 → 完成検査終了証+自動車排出ガス試験結果成績表（改造後）</p> <p>(2)装置指定自動車及び型式認定自動車 → 排出ガス検査終了証+自動車排出ガス試験結果成績表（改造後）</p> <p>(3) (1)及び(2)以外の自動車の改造 → 公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面（改造後）</p>	<p><u>10・15モード排出ガス規制対象自動車</u>の改造に係る新規検査の際に提出する書面について</p> <p>道路運送車両法施行規則第36条第6項に係る提出書面については、「道路運送車両法施行規則第36条第5項、第6項及び第7項の書面について（依命通達）」（平成3年6月28日付け地技第156号）により通達されたところであるが、今後、<u>標記</u>については、同通達によるほか、下記によることとされたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 「原動機、動力伝達装置、燃料装置又は一酸化炭素等発散防止装置の改造を行う場合であって、排出ガス値に影響する改造を行う場合」</p> <p>(1) 型式指定自動車の改造</p> <p>(2) <u>型式認定自動車の改造（一酸化炭素等発散防止装置を備えた自動車。以下同じ。）</u></p> <p>(3) (1)及び(2)以外の自動車の改造</p> <p>2. 等価慣性重量のランク変更（重いランクに変更する場合に限る。）を伴う改造を行う場合。</p> <p>なお、(1)及び(2)の規定により自動車排出ガス試験結果成績表を提出する場合であって、等価慣性重量ランクが複数ある場合には、最も重いランクの自動車排出ガス試験結果成績表の写しでも差し支えない。</p> <p>(1)型式指定自動車の改造 → 完成検査終了証+自動車排出ガス試験結果成績表（改造後）</p> <p>(2)型式認定自動車の改造 → 排出ガス検査終了証+自動車排出ガス試験結果成績表（改造後）</p> <p>(3) (1)及び(2)以外の自動車の改造 → 公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面（改造後）</p>

3. 1. 及び 2. の改造に該当しない改造を行う場合
- (1) 型式指定自動車の改造 → 完成検査終了証  
 (2) 装置指定自動車及び型式認定自動車の改造 → 排出ガス検査終了証  
 (3) (1) 及び (2) 以外の自動車の改造 → 公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面 (改造後)
4. 自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 (平成14年国土交通省告示第619号) 第41条第1項第3号及び第4号、第7号及び第8号並びに第11号及び第12号の自動車にあっては別添1によるものとし、道路運送車両の保安基準第2章及び第3章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を整理のため必要な事項を定める告示 (平成15年国土交通省告示第1318号) 第28条第108項から第113項までの自動車にあっては別添2、同条第102項から第107項までの自動車にあっては別添3、同条第4項から第76項までの自動車のうち10・15モード排出ガス規制対象となるものであって、ガソリン又は液化石油ガスを燃料とするものについては別添4及び別添5、軽油を燃料とするものについては別添6によるものとする。  
 なお、公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面の様式は、別途定めることができるものとする。
5. 1. から 3. までの「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」及び 2. の「自動車排出ガス試験結果成績表」は、改造前の自動車の排出ガス規制に係る測定モードにより作成したものとする。

(注1) 別添1に係る等価慣性重量のランクは次のとおりとする。

表1

試験自動車重量 (kg)	等価慣性重量の標準値 (kg)
～ 480	455
481～ 540	510
541～ 595	570
596～ 650	625
651～ 710	680
711～ 765	740
766～ 850	800
851～ 965	910
966～1080	1020
1081～1190	1130
1191～1305	1250
1306～1420	1360

3. 1 及び 2 の改造に該当しない改造を行う場合
- (1) 型式指定自動車の改造 → 完成検査終了証  
 (2) 型式認定自動車の改造 → 排出ガス検査終了証  
 (3) (1) 及び (2) 以外の自動車の改造 → 公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面 (改造後)
4. 自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 (平成14年国土交通省告示第619号) 第41条第1項第3号、第4号、第7号及び第8号の自動車にあっては別添1、道路運送車両の保安基準第2章及び第3章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を整理のため必要な事項を定める告示 (平成15年国土交通省告示第1318号) 第28条の10・15モード排出ガス規制対象自動車のうち、ガソリン又は液化石油ガスを燃料とするものについては別添2及び別添3、軽油を燃料とするものについては別添4によるものとする。
5. 1 及び 3 の「公的試験機関において実施された試験結果を表す書面」及び 2 の「自動車排出ガス試験結果成績表」は、改造前の自動車の排出ガス規制に係る測定モードにより作成したものとする。

1421～1530	1470
1531～1640	1590
1641～1760	1700
1761～1870	1810
1871～1980	1930
1981～2100	2040
2101～2210	2150
2211～2380	2270
2381～2625	2500
2626～2875	2750
2876～3250	3000
3251～3750	3500
以下500kgごと	以下500kgごと

(注2) 別添2から6に係る等価慣性重量のランクは次のとおりとする。

表2

試験自動車重量 (kg)	等価慣性重量の標準値 (kg)
～ 562	500
563～ 687	625
688～ 812	750
813～ 937	875
938～1125	1000
1126～1375	1250
1376～1625	1500
1626～1875	1750
1876～2125	2000
2126～2375	2250
2376～2625	2500
2626～2875	2750
2876～3250	3000
以下500kgごと	以下500kgごと

- 別添1 軽・中量車排出ガス試験成績 (JC08H+JC08Cモード排出ガス等)  
 別添2 軽・中量車排出ガス試験成績 (10・15+JC08Cモード排出ガス等)  
 別添3 軽・中量車排出ガス試験成績 (10・15+11モード排出ガス等) (略)  
 別添4 自動車排出ガス試験結果成績表 (10・15モード) (略)  
 別添5 自動車排出ガス試験結果成績表 (11モード) (略)  
 別添6 自動車排出ガス試験結果成績表 (ディーゼル10・15モード) (略)

(注) 等価慣性重量のランクは次のとおりとする。

表

試験自動車重量 (kg)	等価慣性重量の標準値 (kg)
～ 562	500
563～ 687	625
688～ 812	750
813～ 937	875
938～1125	1000
1126～1375	1250
1376～1625	1500
1626～1875	1750
1876～2125	2000
2126～2375	2250
2376～2625	2500
2626～2875	2750
2876～3250	3000
以下500kgとび	以下500kgとび

- 別添1 軽・中量車排出ガス試験成績 (10・15+11モード排出ガス等) (略)  
 別添2 自動車排出ガス試験結果成績表 (10・15モード) (略)  
 別添3 自動車排出ガス試験結果成績表 (11モード) (略)  
 別添4 自動車排出ガス試験結果成績表 (ディーゼル10・15モード) (略)

軽・中量車排出ガス試験成績 (JC08H+JC08C モード排出ガス等)

会社名又は試験機関名： \_\_\_\_\_ 印

◎試験自動車

車名・型式 (類別) : \_\_\_\_\_ 用途 : \_\_\_\_\_  
 車台番号 : \_\_\_\_\_ 原動機型式 : \_\_\_\_\_ サイクル : \_\_\_\_\_ 気筒 : \_\_\_\_\_  
 走行キロ数 : \_\_\_\_\_ km 総排気量 : \_\_\_\_\_ L 最高出力 : \_\_\_\_\_ kW {PS} / min<sup>-1</sup>{rpm}  
 車両重量 : \_\_\_\_\_ kg 変速機 : \_\_\_\_\_ 減速比 : \_\_\_\_\_  
 等価慣性重量 (設定値) : \_\_\_\_\_ kg 使用燃料 : \_\_\_\_\_ (密度 : \_\_\_\_\_ )

◎試験成績

○重み付け排出量

	JC08H モード	JC08C モード	重み付け
CO	g/km	g/km	g/km
NMHC	g/km	g/km	g/km
NOx	g/km	g/km	g/km
PM	g/km	g/km	g/km

○アイドリング測定

濃度	
CO	HC
%	ppm

◎備考

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

# JC08H モード排出ガス等試験結果

試験期日： \_\_\_\_\_ 試験場所： \_\_\_\_\_ 会社名又は試験機関名： \_\_\_\_\_ 印

◎試験自動車

車名・型式（類別）： \_\_\_\_\_ 用途： \_\_\_\_\_  
 車台番号： \_\_\_\_\_ 原動機型式： \_\_\_\_\_ サイクル： \_\_\_\_\_ 気筒： \_\_\_\_\_  
 走行キロ数： \_\_\_\_\_ km 総排気量： \_\_\_\_\_ L 最高出力： \_\_\_\_\_ kW {PS} /min<sup>-1</sup> {rpm}  
 車両重量： \_\_\_\_\_ kg 変速機： \_\_\_\_\_ 減速比： \_\_\_\_\_  
 等価慣性重量（設定値）： \_\_\_\_\_ kg 使用燃料： \_\_\_\_\_ (密度： \_\_\_\_\_ )  
 駆動車輪のタイヤ空気圧： \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ（DC/DY、EC/DY、 \_\_\_\_\_ ）：  
 送風機（車速比例型、 \_\_\_\_\_ ）：

○排出ガス及び粒子状物質測定機器

排出ガス分析計：アイドリリング測定用  
 排出ガス分析計：モード測定用 \_\_\_\_\_ THC (FID)  $\gamma$  係数 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ NMC-FID メタン効率 \_\_\_\_\_ エタン効率 \_\_\_\_\_  
 CVS 装置 (PDP、CFV)： \_\_\_\_\_ (採取量 \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)  
 希釈トンネル： \_\_\_\_\_ 精密天秤： \_\_\_\_\_

◎フィルタソーク記録

試験前ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分)  
 試験後ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分)  
 秤量室内湿度： 最大値 \_\_\_\_\_ K(°C) ~ 最小値 \_\_\_\_\_ K(°C) 秤量室内湿度： 最大値 \_\_\_\_\_ % ~ 最小値 \_\_\_\_\_ %

◎試験結果

○アイドリリング測定

原動機回転速度 (rpm)	吸気マニホールド内圧力 (-kPa)	測定値 (NDIR)			濃度補正值	
		CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC
		%	ppm	%	---	---

○排出ガス測定

運転時刻：開始 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 希釈率 (DF)： \_\_\_\_\_  
 試験室内乾球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~ 終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 希釈排出ガス量 (V<sub>mix</sub>)： \_\_\_\_\_ L/km  
 試験室内湿球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~ 終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 湿度補正係数 (KH)： \_\_\_\_\_  
 試験室内相対湿度： \_\_\_\_\_ % 排気管開口部静圧差： \_\_\_\_\_ kPa (70km/h)  
 試験室内大気圧： \_\_\_\_\_ kPa

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-B(1-1/DF)	排出量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
THC (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	ppmC	ppmC		
CH <sub>4</sub> (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	
NMHC			ppmC	g/km
Nox (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○粒子状物質

PM 捕集フィルタガス流速： \_\_\_\_\_ cm/s 測定中の PM 捕集差圧増加： \_\_\_\_\_ kPa  
 補正用フィルタの質量変化： \_\_\_\_\_  $\mu$ g

希釈排出ガス			希釈空気			正味濃度 A-B(1-1/DF)
捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 V <sub>p</sub>	濃度 A=PM <sub>p</sub> /V <sub>p</sub>	捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 V <sub>b</sub>	濃度 B=PM <sub>b</sub> /V <sub>b</sub>	
$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g/L
						排出量 g/km

◎備考

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

# JC08C モード排出ガス等試験結果

試験期日： \_\_\_\_\_ 試験場所： \_\_\_\_\_ 会社名又は試験機関名： \_\_\_\_\_ 印

◎試験自動車

車名・型式（類別）： \_\_\_\_\_ 用途： \_\_\_\_\_  
 車台番号： \_\_\_\_\_ 原動機型式： \_\_\_\_\_ サイクル： \_\_\_\_\_ 気筒： \_\_\_\_\_  
 走行キロ数： \_\_\_\_\_ km 総排気量： \_\_\_\_\_ L 最高出力： \_\_\_\_\_ kW {PS} /min<sup>-1</sup>{rpm}  
 車両重量： \_\_\_\_\_ kg 変速機： \_\_\_\_\_ 減速比： \_\_\_\_\_  
 等価慣性重量（設定値）： \_\_\_\_\_ kg 使用燃料： \_\_\_\_\_ (密度： \_\_\_\_\_ )  
 駆動車輪のタイヤ空気圧： \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ（DC/DY、EC/DY、 \_\_\_\_\_ ）：  
 送風機（車速比例型、 \_\_\_\_\_ ）：

○排出ガス及び粒子状物質測定機器

排出ガス分析計 \_\_\_\_\_ THC (FID)  $\gamma$  係数 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ NMC-FID メタン効率 \_\_\_\_\_ エタン効率 \_\_\_\_\_  
 CVS 装置 (PDP、CFV)： \_\_\_\_\_ (採取量 \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)  
 希釈トンネル： \_\_\_\_\_ 精密天秤： \_\_\_\_\_

◎ゾーク記録

ゾーク室内温度（退室前6時間の温度） \_\_\_\_\_ 最高 \_\_\_\_\_ K(°C) ~最低 \_\_\_\_\_ K(°C)  
 ゾーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 (入室 日 時 分 ~退室 日 時 分)  
 冷却水温度（放置後）： \_\_\_\_\_ K(°C) 潤滑油温度（放置後）： \_\_\_\_\_ K(°C)

◎フィルタゾーク記録

試験前ゾーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( 日 時 分 ~ 日 時 分 )  
 試験後ゾーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( 日 時 分 ~ 日 時 分 )  
 秤量室内湿度： 最大値 \_\_\_\_\_ K(°C) ~最小値 \_\_\_\_\_ K(°C) 秤量室内湿度： 最大値 \_\_\_\_\_ % ~最小値 \_\_\_\_\_ %

◎試験結果

○排出ガス測定

運転時刻：開始 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 希釈率 (DF)： \_\_\_\_\_  
 試験室内乾球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 希釈排出ガス量 (Vmix)： \_\_\_\_\_ L/km  
 試験室内湿球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 湿度補正係数 (KH)： \_\_\_\_\_  
 試験室内相対湿度： \_\_\_\_\_ % 排気管開口部静圧差： \_\_\_\_\_ kPa (70km/h)  
 試験室内大気圧： \_\_\_\_\_ kPa

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度	希釈空気濃度	正味濃度	排出量
	A	B	A-B(1-1/DF)	
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
THC (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
NMHC	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○粒子状物質

PM 捕集フィルタガス流速： \_\_\_\_\_ cm/s 測定中の PM 捕集差圧増加： \_\_\_\_\_ kPa  
 補正用フィルタの質量変化： \_\_\_\_\_  $\mu$ g

希釈排出ガス			希釈空気			正味濃度 A-B(1-1/DF)
捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 V <sub>p</sub>	濃度 A=PM <sub>p</sub> /V <sub>p</sub>	捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 V <sub>b</sub>	濃度 B=PM <sub>b</sub> /V <sub>b</sub>	
$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g/L
						排出量 g/km

◎備考

\_\_\_\_\_

軽・中量車排出ガス試験成績 (10・15+JC08C モード排出ガス等)

会社名又は試験機関名： \_\_\_\_\_ 印

◎試験自動車

車名・型式 (類別) : \_\_\_\_\_ 用途 : \_\_\_\_\_  
 車台番号 : \_\_\_\_\_ 原動機型式 : \_\_\_\_\_ サイクル : \_\_\_\_\_ 気筒 : \_\_\_\_\_  
 走行キロ数 : \_\_\_\_\_ km 総排気量 : \_\_\_\_\_ L 最高出力 : \_\_\_\_\_ kW {PS} / min<sup>-1</sup>{rpm}  
 車両重量 : \_\_\_\_\_ kg 変速機 : \_\_\_\_\_ 減速比 : \_\_\_\_\_  
 等価慣性重量 (設定値) : \_\_\_\_\_ kg 使用燃料 : \_\_\_\_\_ (密度 : \_\_\_\_\_ )

◎試験成績

○重み付け排出量

	10・15 モード	JC08C モード	重み付け
CO	g/km	g/km	g/km
NMHC	g/km	g/km	g/km
NOx	g/km	g/km	g/km
PM	g/km	g/km	g/km

○アイドリング測定

濃度	
CO	HC
%	ppm

◎備 考

---



---



---



# 10・15 モード排出ガス等試験結果

試験期日： \_\_\_\_\_ 試験場所： \_\_\_\_\_ 会社名又は試験機関名： \_\_\_\_\_ 印

◎試験自動車

車名・型式（類別）： \_\_\_\_\_ 用途： \_\_\_\_\_  
 車台番号： \_\_\_\_\_ 原動機型式： \_\_\_\_\_ サイクル： \_\_\_\_\_ 気筒： \_\_\_\_\_  
 走行キロ数： \_\_\_\_\_ km 総排気量： \_\_\_\_\_ L 最高出力： \_\_\_\_\_ kW {PS} /min<sup>-1</sup> {rpm}  
 車両重量： \_\_\_\_\_ kg 変速機： \_\_\_\_\_ 減速比： \_\_\_\_\_  
 等価慣性重量（設定値）： \_\_\_\_\_ kg 使用燃料： \_\_\_\_\_ (密度： \_\_\_\_\_ )  
 駆動車輪のタイヤ空気圧： \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ（DC/DY、EC/DY、 \_\_\_\_\_ ）：  
 送風機（車速比例型、 \_\_\_\_\_ ）：

○排出ガス及び粒子状物質測定機器

排出ガス分析計：アイドリリング測定用  
 排出ガス分析計：モード測定用 \_\_\_\_\_ THC (FID)  $\gamma$  係数 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ NMC-FID メタン効率 \_\_\_\_\_ エタン効率 \_\_\_\_\_  
 CVS 装置 (PDP、CFV)： \_\_\_\_\_ (採取量 \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)  
 希釈トンネル： \_\_\_\_\_ 精密天秤： \_\_\_\_\_

◎フィルタソーク記録

試験前ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 時 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 時 分 )  
 試験後ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 時 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 時 分 )  
 秤量室内温度： 最大値 \_\_\_\_\_ K(°C) ~ 最小値 \_\_\_\_\_ K(°C) 秤量室内湿度： 最大値 \_\_\_\_\_ % ~ 最小値 \_\_\_\_\_ %

◎試験結果

○アイドリリング測定

原動機回転速度 (rpm)	吸気マニホールド内圧力 (-kPa)	測定値 (NDIR)			濃度補正值	
		CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC
		%	ppm	%	---	---

○排出ガス測定

運転時刻：開始 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 希釈率 (DF)： \_\_\_\_\_  
 試験室内乾球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~ 終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 希釈排出ガス量 (V<sub>mix</sub>)： \_\_\_\_\_ L/km  
 試験室内湿球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~ 終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 湿度補正係数 (KH)： \_\_\_\_\_  
 試験室内相対湿度： \_\_\_\_\_ % 排気管開口部静圧差： \_\_\_\_\_ kPa (70km/h)  
 試験室内大気圧： \_\_\_\_\_ kPa

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-B(1-1/DF)	排出量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
THC (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
NMHC	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
Nox (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○粒子状物質

PM 捕集フィルタガス流速： \_\_\_\_\_ cm/s 測定中の PM 捕集差圧増加： \_\_\_\_\_ kPa  
 補正用フィルタの質量変化： \_\_\_\_\_  $\mu$ g

希釈排出ガス			希釈空気			正味濃度 A-B(1-1/DF)
捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 V <sub>p</sub>	濃度 A=PM <sub>p</sub> /V <sub>p</sub>	捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 V <sub>b</sub>	濃度 B=PM <sub>b</sub> /V <sub>b</sub>	
$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g/L
						排出量 g/km

◎備考

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

# JC08C モード排出ガス等試験結果

試験期日： \_\_\_\_\_ 試験場所： \_\_\_\_\_ 会社名又は試験機関名： \_\_\_\_\_ 印

◎試験自動車

車名・型式（類別）： \_\_\_\_\_ 用途： \_\_\_\_\_  
 車台番号： \_\_\_\_\_ 原動機型式： \_\_\_\_\_ サイクル： \_\_\_\_\_ 気筒： \_\_\_\_\_  
 走行キロ数： \_\_\_\_\_ km 総排気量： \_\_\_\_\_ L 最高出力： \_\_\_\_\_ kW (PS) /min<sup>-1</sup>(rpm)  
 車両重量： \_\_\_\_\_ kg 変速機： \_\_\_\_\_ 減速比： \_\_\_\_\_  
 等価慣性重量（設定値）： \_\_\_\_\_ kg 使用燃料： \_\_\_\_\_ (密度： \_\_\_\_\_ )  
 駆動車輪のタイヤ空気圧： \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ（DC/DY、EC/DY、 \_\_\_\_\_ ）：  
 送風機（車速比例型、 \_\_\_\_\_ ）：

○排出ガス及び粒子状物質測定機器

排出ガス分析計 \_\_\_\_\_ THC (FID)  $\gamma$  係数 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ NMC-FID メタン効率 \_\_\_\_\_ エタン効率 \_\_\_\_\_  
 CVS 装置 (PDP、CFV)： \_\_\_\_\_ (採取量 \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)  
 希釈トンネル： \_\_\_\_\_ 精密天秤： \_\_\_\_\_

◎ソーク記録

ソーク室内温度（退室前 6 時間の温度） \_\_\_\_\_ 最高 \_\_\_\_\_ K(°C) ~最低 \_\_\_\_\_ K(°C)  
 ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 (入室 日 時 分 ~退室 日 時 分)  
 冷却水温度（放置後）： \_\_\_\_\_ K(°C) 潤滑油温度（放置後）： \_\_\_\_\_ K(°C)

◎フィルタソーク記録

試験前ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( 日 時 分 ~ 日 時 分 )  
 試験後ソーク時間： \_\_\_\_\_ 時間 ( 日 時 分 ~ 日 時 分 )  
 秤量室内温度： 最大値 \_\_\_\_\_ K(°C) ~最小値 \_\_\_\_\_ K(°C) 秤量室内湿度： 最大値 \_\_\_\_\_ % ~最小値 \_\_\_\_\_ %

◎試験結果

○排出ガス測定

運転時刻：開始 \_\_\_\_\_ 時 分 希釈率 (DF)： \_\_\_\_\_  
 試験室内乾球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 希釈排出ガス量 (V<sub>mix</sub>)： \_\_\_\_\_ L/km  
 試験室内湿球温度：開始前 \_\_\_\_\_ K(°C) ~終了後 \_\_\_\_\_ K(°C) 湿度補正係数 (KH)： \_\_\_\_\_  
 試験室内相対湿度： \_\_\_\_\_ % 排気管開口部静圧差： \_\_\_\_\_ kPa (70km/h)  
 試験室内大気圧： \_\_\_\_\_ kPa

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-B(1-1/DF)	排出量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
THC (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
NMHC			ppmC	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○粒子状物質

PM 捕集フィルタガス流速： \_\_\_\_\_ cm/s 測定中の PM 捕集差圧増加： \_\_\_\_\_ kPa  
 補正用フィルタの質量変化： \_\_\_\_\_  $\mu$ g

希釈排出ガス			希釈空気			正味濃度 A-B(1-1/DF)
捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 V <sub>p</sub>	濃度 A=PM <sub>p</sub> /V <sub>p</sub>	捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 V <sub>b</sub>	濃度 B=PM <sub>b</sub> /V <sub>b</sub>	
$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g/L
						排出量 g/km

◎備考

\_\_\_\_\_